

Thank you

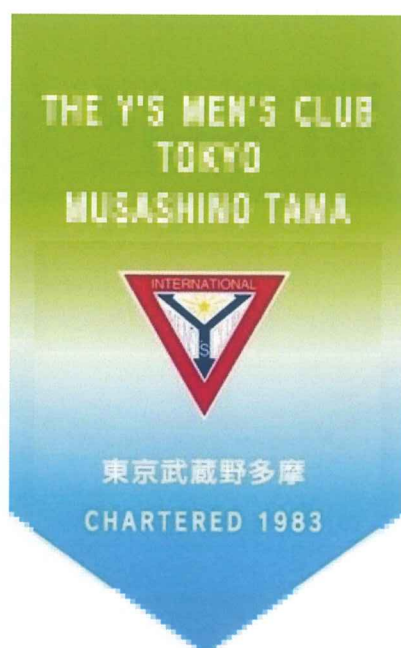
2023

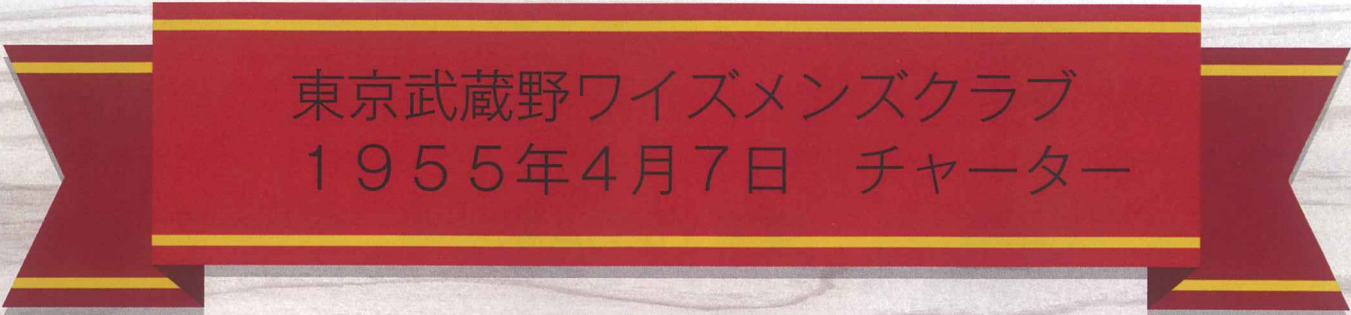
東京武蔵野多摩
ワイズメンズクラブ

40周年記念誌

2023年2月10日

2023年
東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブは
40周年を迎えました








東京武蔵野ワイズメンズクラブ
1955年4月7日 チャーター



東京多摩ワイズメンズクラブ
1983年3月6日 チャーター

Seoul Han Yang Club (KOREA)
1987年5月IBC締結



2006年9月
東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ誕生

Tsim Sha Tsui Club (Hong Kong)
2010年8月IBC締結

神戸学園都市クラブ
2011年5月DBC締結



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブの創立40周年、
誠におめでとうございます



東京YMCA総主事 菅谷 淳

ワイズメンズクラブの国際聖句であるヨハネによる福音書第17章21節の「すべての人を一つにしてください」はYMCAの基本聖句でもあります。これは「人は皆同じでひとつの仲間である」のように十把一絡げということではなく、「人は皆違うけれど、その違いをお互い尊重して同じ目的に向かって一つになろう」という意味です。ワイズもYMCAもその数だけ違いはあるけれど、その違いを認め合い高め合い、思いと力を一つにして人々のために、地域のために、そして世界のためにできる限りの貢献をしようということです。そのためには会員を増やし、拠点を整え、持続可能なクラブ、持続可能なアソシエーションにしていくことが重要です。

東京武蔵野多摩クラブの40年は、この国際聖句をベースに、YMCAを訪れる多種多様な子どもたちやリーダーの、命と個性を尊重することを心がけてYMCAに奉仕されてきた年輪であると思います。さらに東京武蔵野多摩クラブは「順繰りのお返し」がうまいクラブと思います。「順繰りのお返し」とは、自分がしてもらった良いことを別の人にお返しすることを言います。楽しかった、嬉しかった、良かったと思うことをつなげていく順繰りのお返しの連鎖が40年続いてきました。ワイズメンとスタッフの交流、ワイズメンとリーダーの交流、ワイズのシニアメンバーと若いワイズメンとの交流など、背景や世代を超えた貴重な出会いと触れ合いが40年間続き、声をかけると今尚たくさんのワイズとYMCAのOBOGたちが過去の感動を携えて集まって来ます。素晴らしいことです。

東京武蔵野多摩クラブが長年支援して下さっている西東京コミュニティセンターの運営について、ご迷惑、ご心配をおかけして申し訳ありません。武蔵野ランチ時代からの流れを継承し、障がい児・者プログラムに重きを置いた東京YMCAのかけがえのない拠点ですので、何とかして復活させたいと願っています。あらゆる可能性を排除せず、YMCAの会員の皆様、ワイズの皆様と知恵と力を出し合って、このピンチをチャンスに変えるつもりで次世代の西東京センター構築を目指したいと思います。

これまでの40年の歩みに神様のお導きがありましたことを感謝し、さらに50周年に向けての、東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブのますますの発展を祈念いたしまして祝辞とさせていただきます。



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ設立40周年 おめでとうございます

東日本区理事 佐藤重良



2014-2015年度のブリテンに宮内友弥さんの「クラブ会長のスタートにあたって」と題した抱負が載ってありました。「30周年は終わったものの16名のクラブ員が11名になってしまった。本年度のクラブの抱負は「Extension, extension & extension」とした。その為にやれる事は何でもトライしたいと思う。手始めとして卓話者候補の拡充、ゲストを飽きさせない第1例会のあり方の検討やクラブホームページの立ち上げ、西東京センターに関わる方達への働きかけ等を推進したい。全ては魅力あるクラブ作りのため、自信を持って新入会員勧誘に励める体制作りのためにメンバー全員の皆様の叡智を集約して前進するのみ」と書かれております。

一方、今年(2022-2023年度)のクラブ会長である中村吉孝会長の主題は「未来に向けて、まずは会員増強から」、重点目標に「魅力ある卓話者の設定により例会プログラムを充実し、同時に入会候補者を積極的に招待すること、休会メンバーに声掛けすること」等あげられています。

現在東日本区としても毎年会員の減少が続いており、歯止めがかからない状況にありますので、私はこのことを大きな課題としてとらえ、「EMC活動を活性化し会員増強しましょう!」「未来のために今すぐ行動しよう!」と会員の皆様をお願いしている状況です。8年前の宮内友弥会長・今年の中村吉孝会長が掲げられている事と全く同じことを唱えていることに気付きました。先輩たちも・現在も「会員増強には近道はない、地道な活動を信念もってあきらめず実施すること」と歴史から学べます。具体的には、①会員増強のチームを作り、②キーマンを定め、③入会候補者をリストアップして、④目標を定めて行動する。今後の活動の成果を期待しております。

またそのほかの貴クラブの活動について期待していることを述べさせていただきます。クラブITの普及について(ブリテン・伊佐さん2013-2014年度会長のコメントから)、「渡辺大輔さんが30周年に入会されたので その時からITを良く使いクラブから頼りにされていた」とありました。IT普及に大変ご尽力されておられますので、今後ともクラブ・個人のITの使い方の普及に支援いただくことを願います。健康増進カフェの実施への協力・くにたちさくらフェスティバルの支援・ユースリーダーの支援等YMCAと地域社会に、継続して奉仕活動を推進し貢献していただきたいと思っております。事業としてメルカリ活用による不用品販売によるクラブファンドの本格運用など検討されていることは大変有効なこととおもいます。例会の重点・卓話も活発に実施されております、会員増強につながることを期待しております。

近年東日本区の理事2人の排出クラブです。(22代宮内友弥・24代板村哲也) 24代板村哲也理事は政府からのコロナ拡散防止の緊急事態宣言が発令された渦中での東日本区の厳しい運営でした。感謝し敬服しております。40年の歴史(諸先輩)から学び、クラブ員が絆を強くし、現状のコロナ禍や難関を乗り越え、今後貴クラブのますますのご発展をお祈りしています。

「誰かのために奉仕して、友情を深めながら 楽しいクラブライフ!」



あずさ部長 後藤明久

東京武蔵野多摩クラブ40周年おめでとうございます！

紆余曲折の中、長きにわたるワイズメンズクラブ活動に敬意と感謝をささげます。東京地区のワイズメンズクラブは、電車・バス・自動車と多岐にわたる交通手段もあり、会員の居住地よりも、支援するYMCAセンターでのつながりが深く、また各種イベントでの交流がワイズ活動の根幹のように感じます。私の所属する富士五湖クラブは地区にYMCAセンターがないので、例会はもっぱら市民ふれあいセンターのような公共施設での例会です。行事は障がい者フライングディスク大会や富士山例会、各種イベントなどが中心で運営しています。それらに参加する東京武蔵野多摩クラブとの交流は深くなっていると感じます。

東京武蔵野多摩クラブの面々とは評議会や部会、区大会でいつものように会っています。またいつものように二次会に繰り出しています。富士五湖クラブもイベントが多いので、富士山例会、納涼例会、新年例会、障がい者フライングディスク大会と盛りだくさんの行事に各地から参加してもらっています。その中でいつでも見る顔が東京武蔵野多摩クラブのメンバーです。ですから富士五湖クラブとの浅からぬ縁を感じています。近年でも理事を2名出し、当然あずさ部長、東日本区役員、あずさ部役員と毎年出している中核クラブです。

9/14（水）の国立市のYMCA西東京センターでの例会に部長公式訪問をさせて頂き、しっかりした例会運営をしていると感銘しました。ズーム併用でのハイブリッド例会は、モニターも使い、聖句や卓話もしてしまう。また内容も濃く、いろいろ考えさせていただく良い機会でした。そして、会員がどこにいてもできる例会運営は素晴らしいの一言です。会員一人一人の考え、力を発揮できているのではないのでしょうか。例会終了後、二次会にも連れて行ってもらう懇親を深められたことはうれしい限りです。遠く離れていても、薄れることのないワイズのつながりを再確認いたしました。今後もこの乗りの良さや規律正しい運営などをワイズ活動に反映し、あずさ部はもちろん、ワイズ全体のけん引役として活動を続けていていただきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ40周年によせて

神戸学園都市ワイズメンズクラブ 会長 杉本隆人



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ創立40周年、誠におめでとうございます。

長きにわたりYMCA、地域、国際へのご奉仕活動において多大なご尽力により今日を迎えられたことに敬意を表します。

貴クラブとのDBC締結したのが、2011年5月で名古屋YMCAにて調印したことを鮮明に覚えております。懇親会では名古屋の老舗のうなぎ屋でひつまぶしをいただいたのが昨日のような気がしております。その歴史は、まだ11年あまりで、貴クラブの歴史からみますと1/4程度という短さですが、色んなことがありました。40年という時の流れを考えますと語り切れないほどの出来事があったことでしょう。

この2年間は、コロナ感染拡大が収束せず、我々の活動も滞りがちとなり、萎縮したものとなった反面、リモートを活用することに慣れたことが、何とか細い糸で繋がっているという感じですが、そろそろ限界かも知れません。これを機会に「初心忘るべからず」、原点に返り対面での活動を主体に切り替えて、新しいスタートにしたいものですね。

わがクラブの今期のテーマですが、「日々新たなり」としており、日々変化する情勢に対応していけるよう日頃より心がけています。

また今後DBC交流も積極的にやっていきましょう！

東京武蔵野多摩クラブの活動が益々ご発展することを祈念致しまして、祝辞とさせていただきます。



IBC Seoul Han Yang Club (KOREA)より



2022-2023

Y'S MEN INTERNATIONAL KOREA AREA SEOUL REGION

Seoul-Hanyang Club

Chartered May 6, 1958

515, YMCA Bldg., Jongno 69, Jongno-gu, Seoul Metropolitan City, 03164

Tel. 82-2-735-2395 82-10-3261-7480 Email chiswon@hanmail.net

To Acknowledge the Duty Accompanies Every Right

October 5, 2022

To : IBC Friends,

Mr. Yoshitaka Nakamura
Club President
Tokyo Musashino-Tama Y's Men's Club



Dear Mr. Nakamura

I was very pleased to receive your mail of August 24, 2022 announcing that you will issue a commemorative booklet to mark the 40th anniversary of Tokyo Musashino-Tama Club in March next year.

All the members of the Seoul-Hanyang Club are sorry that your Club cannot hold the celebration party due to the severe circumstances of COVID-19, and extend our cordial congratulations to you and all your Club members.

Mr. Cha Jin-young remembers attending your club event in 1980s. Mr. Jeon Yoon-gyu has also been associated with your club members for a long time. Fortunately, I met Mr. Itamura Tetsuya at the 5th Korea Area Convention in Changwon 2019.

Please accept our very best wishes for your continued success in operation and development in the next 40 years. Celebrating the 100th anniversary of Y's Men International, I wish Seoul-Hanyang Club and Musashino-Tama Club can work more closely together.

Y'sly and cordially,

Chi Seung-won

Chi Seung-won
Club President
Seoul-Hanyang Y's Men's Club
Korea



親愛なる中村会長

東京武蔵野多摩クラブ（TMT）が40周年を迎えるに当たり、記念誌を発行されるとのメールを送っていただきありがとうございます。

当Hanyangクラブのメンバー全員が、コロナ禍での厳しい状況のため貴クラブで祝賀パーティーを開催できないことを遺憾に思っておりますと共に、心よりのお祝いを申し上げます。

Mr.Cha Jin-youngは、1980年代に貴クラブのイベントに参加したことを良く覚えておられます。Mr.Jeon Yoon-gyulは、長年に渡り貴クラブメンバーとの交流を重ねてこられました。また、幸いにも私は、2019年Changwonで開催された第5回韓国地域大会で板村様にお会いしました。

TMTクラブ活動の今後40年の引き続きの成功と更なる発展をお祈りします。
YMIの100周年を祝うと共に、HanyangクラブとTMTが更に緊密に協働できることを願っています。

Chi Seung-won
Seoul-Hanyaug Y's Men's Club会長



IBC Tsim Sha Tsui Club (Hong Kong) より



尖沙咀(國際)聯青社 Y's Men's Club of Tsim Sha Tsui

Chartered on March 19, 1981

(Affiliated with International Association of Y's Men's Clubs)

C/O YMCA of Hong Kong, Salisbury Road, Kowloon, Hong Kong

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Dear Fellow Members of the Tokyo Musashino-Tama Club,

It is my great honour to send you a congratulatory message to your club for the 40th anniversary in March 2023 on behalf of the Tsim Sha Tsui Club.

As mentioned by PP Andy Fu and PP Rose Yun, our clubs have built up the brotherhood more than a decade ago. They are very treasured for your warm hospitality at the International Convention on 8th August 2010. They have also told me that our clubs have many connections in the following International Conventions.

I am quite new to the Tsim Sha Tsui Club, so I have visited your website to gather more information about your club. I can see your smiley faces and the club reports. Although I don't know Japanese, I can still guess the events from the Kanji. I know that your club still holds regular meetings during this pandemic of Covid-19. It is very encouraging to me.

You may know that it is also a hard time in Hong Kong in these two years. We have been holding online meetings for more than six months at the peak of the pandemic when all meeting places were forced to close by the Government. Apart from club affairs, it is also a hard time for the disadvantaged people in Hong Kong. So, Tsim Sha Tsui Club has arranged the donation of anti-epidemic materials, such as face masks and rapid antigen test kits, for the elderly centres and community centres. We have also arranged three rice-box giveaway activities for needed people and more than 1000 rice boxes have been sent to the ones that are needed.

This year, Tsim Sha Tsui Club will try to explore opportunities to help the ethnic minority in Hong Kong. We will cooperate with the YMCA of Hong Kong to open up the changes for the ethnic minority to sell their handmade products in some shopping malls. It is not only to let the ethnic minority gain some money by selling products, but also to let them have a chance to show their cultures to Hong Kong citizens.

As you have mentioned that we will not have any party this time, but I think, we will keep both clubs in our prayers and we will have a warmly gathering in some days.

At last, Congratulations on the 40th Anniversary of the Tokyo Musashino-Tama Club and wish the club affair keeps on booming in the coming years.

Best Wishes,

Tony Ng Kwok-leung

Club President of TST Club



東京武蔵野多摩クラブの皆様へ。

2023年3月に40周年を迎える貴クラブに、Tsim Sha Tsuiクラブ (TST) を代表して祝辞を送らせていただくことを大変光栄に思います。Andy Fu元会長とRose Yun元会長もおっしゃっていましたが、私たちのクラブは10年以上前にIBCを締結しました。2010年8月8日の国際大会での温かいお持て成しは、彼らの大きな宝物です。また、それ以降の国際大会で、私たち両クラブは多くのコネクションを持っているとおっしゃっています。

私はTSTに入ってまだ日が浅いので、貴クラブの情報を収集するために貴ホームページを拝見させていただきました。皆さんの笑顔とブリテンを見ることができます。私は日本語がわかりませんが、漢字から出来事を推測することができます。このCovid-19の大流行の中、貴クラブがまだ例会を開いていることを知っています。とても心強いです。

この2年間は香港でも大変な時期であることはご存知でしょう。パンデミックのピーク時には、政府によって全ての集会所が閉鎖に追い込まれる中、半年以上にわたってオンラインミーティングを開催してきました。クラブ事情とは別に、香港の貧しい人々にとっても大変な時期なのです。そこでTSTでは、フェイスマスクや迅速抗原検査キットなどの防疫資材を、高齢者センターやコミュニティセンターに寄贈するよう手配しました。また、必要な人にお米を贈る活動も行い、1000個以上のお米が必要な人に贈られました。

今年、TSTは、香港の少数民族を支援する機会を探ろうと考えています。香港YMCAと協力し、いくつかのショッピングモールで少数民族の手工芸品を販売する機会を設ける予定です。これは、少数民族の人たちが商品をお金を得るだけでなく、香港の人たちに自分達の文化を見せるチャンスでもあるのです。

今回、パーティーは行われないとのことですが、両クラブでお互いにお祈りして、いつの日か暖かい集まりを持ちたいと願います。

最後になりましたが、東京武蔵野多摩クラブ40周年、おめでとうございます！そして、これからもクラブ活動がますます盛んになることを願っています。

Tony Ng Kwok-leung
Tsim Sha Tsui Y's Men's Club会長



伊佐節子

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

夫、故伊佐喬三(読売新聞記者)が立川市でボーイスカウト活動に関わり、青少年の野外活動を展開していた。東京YMCAの野外青少年活動の委員?だった関係で、立川YMCA発足に関わり、運営委員だった。夫が1979年2月病死、その後、ワイズメン発足が計画され、メンバーの誘いがあり、会員となった。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

コロナ騒動で外出の機会が減り、体力が衰え、会への参加が無理になって来ている ZOOMでの参加の方法で助かっている。

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

忙しい人ほど活動しているように思う?

【メン】 メンバーに向けて一言

少ないメンバーで東日本区の役員を引き受け、ご苦労様でした。新しいワイズ活動のあり方が提起されたと思います。



宮内友弥

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

30年余のサラリーマン生活の中でその半分以上を海外で過ごし、外から日本国内を客観的に見る機会があり、それまでの人生観が変わったことが大きな理由で、漸く社会福祉、支援などのボランティア活動に目覚めました。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

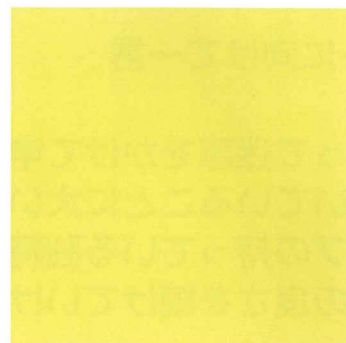
早くコロナ禍が収まり、リアル対面での集まりができるようになること。気のおけない仲間との本音での議論と活動。
(歳と共に活動が伴わなくなってきましたが。)

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

話し出すと長くて、なかなか止まらないワイズが多いこと。
(お前にだけは言われたくないとの声が聞こえてきそうですが。)

【メン】 メンバーに向けて一言

喜寿を迎えました。いつまでかはわかりませんが、生涯現役ワイズで居たいと思っていますので、よろしくお願いします。





山口直樹

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

1997年に宇都宮東クラブに入会。とちぎYMCAが初めて作った老人ホーム(マイホームきよはら)への出向で、初めての場所で公私ともに大変温かい支えをもらった。その後も、長いお付き合いをさせてもらっている。感謝。東京に戻ってきてからも、多摩クラブに入会させていただいた。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

いろいろな場で広がったワイズのメンバーとの出会い。肩ひじ張らずに、一緒に時間が過ごせることはかけがえのないもの。この付き合いを長く続けていきたい。また、様々な場面での新しい出会い。しがらみがない場での出会いは、大変すばらしい。コロナの影響で、直接会える場の減少は、改めてワイズの良さを再認識させられた。

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

ワイズって何?一言では人に説明できない。皆さんどうしていますか。今の率直な感想です。とにかく会議が多い。また、それぞれの思いが違う中で、形式的なマニュアルが独り歩きをしている。また、組織が複雑化・肥大化してきている。会員数の減少などに象徴される弱体化に逆行する変更が行われている。会議を行うことが目的になっているのでは。クラブにいて全体が見えない。区が遠い存在。でも、思いが違う人がともに一緒にやっていること。たいへんふしぎ。そこにワイズの秘密が隠れているかも。尤も、それが何かはかすっきりとは見つからない。意見の違いがある中、それを温かく許容しているところに奥深いワイズの魅力が隠されているのかも。それが見つけられれば、存在価値も増大するかも。

【メン】 メンバーに向けて一言

勝手なことを言って迷惑をかけて申し訳ありません。居場所を作って、温かく見守っていただいていることに大いに感謝しています。出入りは結構ありますが、武蔵野多摩クラブの持っている独特の温かさは不変だと思います。これからも、この良さを続けていければと願っています。



板村 哲也

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

通っているスポーツジムのボイストレーニングのインストラクターが2015年に東京YMCA西東京コミュニティセンターで講座を持つとのことで、ジム仲間数人とインストラクターの応援に行き、そこで宮内さんと32年ぶりに偶然再会。クラブの例会の卓話を頼まれ、忘年会に招かれ、入会を勧められ、酒の勢いで入会（2016年2月）。勧めを受け入れられた理由は次の通り。

- ・退職後、自由時間ができ、経済的に困窮している訳ではなかったのに、少しは社会に役立てるのではと思った。既に趣味の活動、ボランティア活動、マンション管理組合の活動など計5件に携わっていたが、新しいこと（ワイズ）に少し時間を割いてもよいと思った。結果はどっぴりとワイズに浸かってしまった。
- ・東京YMCA西東京コミュニティセンターでリーダー達を見て素晴らしいと思った。
- ・クラブの飲み会が楽しかった。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

- ・未知のこと、新しいこと、新しい人との出会い。

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

- ・諸活動での宗教行為の実施。定款には宗教の精神が謳われているが行為をするようにとの規定はない。また、日本国憲法第20条第2項では「何人も、宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することを強制されない。」と定められている。任意団体とはいえ、微妙なところではないか。私は非クリスチャンながら、受け入れているから今もワイズに居る。
- ・ワイズの会員が他団体（YMCA）の会員になることを東日本区の定款で規定（強制）していること。（国際憲法では強制していない。ガイドラインで「関連地区のYMCAの会員になることが望まれる」と記しているのみ。西日本区定款も強制していない。）
- ・年度終了前、年度決算終了前に年次代議員会（いわゆる総会）を開催すること。
- ・会員の減少につき歴代のほとんどの会員、リーダーが問題意識と意見、一家言を持ち、長年の間何度も議論を続けている。しかし意見を述べる人が変わっても、年度が変わっても、内容的にはほぼ同じ問題を繰り返し指摘して（いつもゼロスタートをして）、何も変わらず今日に及んでいる現実。
- ・やっていることが昔も今も（時代が移っても）変わらない。
- ・ボランティア団体としての矛盾と限界。（利己的（自分の好きなこと、やりたいこと、自分が納得することしかしない。する程度も自由。嫌いなこと、いやなこと、納得しないことはしない。価値観に合わないことはしない）、強制力なし、生産性を問わない、自己満足。故に発展・向上に限界あり。）
- ・ワイズにのめり込めばのめり込むほどワイズ以外の活動の時間が減り、世間や視野が狭くなるパラドックス。個人的なことかもしれないが。

【メン】 メンバーに向けて一言

ご縁ですね。



渡辺大輔

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

- ・ちょうどチーム未来が発足するということでワイズにならないと意見が言えなかったので
- ・懇親会が楽しく、普段関りを持たない人たちと交流ができるため
- ・自分が経験したことを後世のユースに伝え、同じく体験してもらいたいため

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

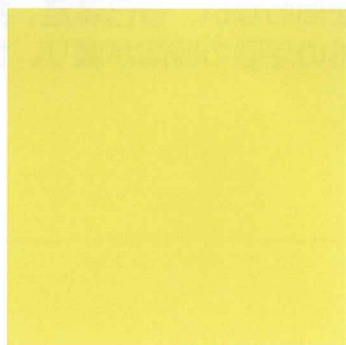
東京YMCA西東京センターの再開と東京武蔵野多摩クラブの発展

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

メンバーが少なくなってきたクラブを統合する良いアイデアが出てこないこと。

【メン】 メンバーに向けて一言

2023年10月で入会10年となります。
今後ともよろしく願いいたします。





中村吉孝

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

1997年に社会人になり、それまでのYMCAとの関わり（幼稚園でのメンバー時代～大学でのリーダー時代）が途切れました。社会人4年目となり、結婚を控えた時期である2000年に、YMCAとの新たな関りを求めて、湯河原ワイズメンズクラブに入会しました。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

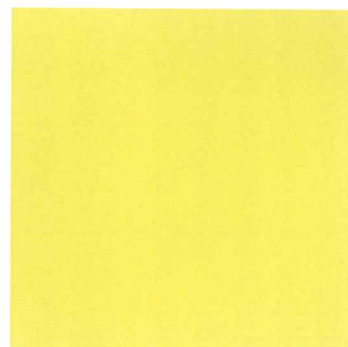
毎月の例会への参加が楽しみです。

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

YMCAの元リーダーが社会人になった後、気負いなくワイズメンズクラブに入会してくれないのは何故なのか？

【メン】 メンバーに向けて一言

西東京センターのプログラムが全面中止となってしまった今、「YMCAを応援しようというモチベーションをいかに保つか」をクラブ全員で考えていきましょう。





小林 文彦

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

目黒YMCAでサイクリングリーダーをやっている頃、翌週のプログラム計画を作るなどと理由をつけ、学校にも行かずYでたむろっていると、夕方に見知らぬ大人が集まってきて集会室から追い出されることが月に何度かあり、あれは何なのかと不思議に思っていたら、ある時ワイズメンズクラブという名称の会合だと知らされた。その後も何をやっているのか実態が分からないまま40数年が過ぎた時、昔からのYのメンバー仲間が突然「国立でワイズに入ったので、ちょっと見に来ない」という怪しげな誘いがあり、何度かお断りしていたが「断り続けるのも悪いし、一度だけ見に行けば済むか」とノコノコ国立まで出掛けたのが運のつき、という事でそれが今日まで続いている一番の理由。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

コロナ過と西センターの活動停止で叶わぬ事となってしまったが、プログラムに参加してくる子供達の活動を見る事や、リーダー連中とのたわいない会話をする事。あとは興味をもっている分野の識者が行う卓話も楽しみのひとつ。

【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

人数の割りにいろいろなタイトル、役割、決まり事が多いこと。

【メン】 メンバーに向けて一言

4月以降、思いとは少し違ってしまったが拘束されない時間を持てるようになり、この時間どのように使うか？最後の力を振り絞りなにか新しい事にチャレンジしたいな、とは思いますがさてさてなんだろう？候補はいくつかあるがやるかどうか半信半疑。



江夏一彰

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

教会の信徒の方から声を掛けていただいたのがきっかけでした。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

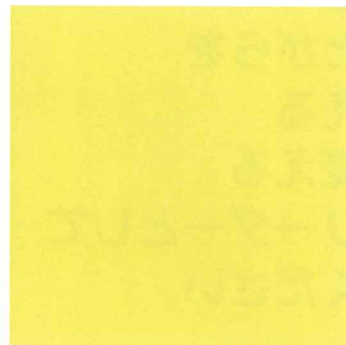
仕事の都合上、あまり活動や参加が出来ていないので、活動を拝見するのが楽しみでもあり、心苦しくもあります。

【ズ】 ずっとワイズ活動で不思議に思っていること

ずっと、ワイズ活動が続いていることかな。

【メン】 メンバーに向けて一言

ご迷惑をお掛けしております。陰ながらの応援が続いており、大変申し訳ございません。m(_ _)m





出 沼 一 弥

【ワ】 わたしがワイズを始めた理由

2016年4月に西東京コミュニティーセンターへ異動となり、担当主事を仰せつかりました。西東京での仕事内容も、雰囲気や様子も全く分からない赴任した翌日（4月2日）が「くにたちさくらフェスティバル」でした。初めて会うワイズのみなさんのパワーと桜のきれいさにビックリしたことがついこの間のように感じます。

【イ】 今、ワイズ活動で一番楽しみにしていること

自分の健康は自分で考え自分で守る。病院では聞けないことを知れる。大切なことが学べる「健康増進カフェ」

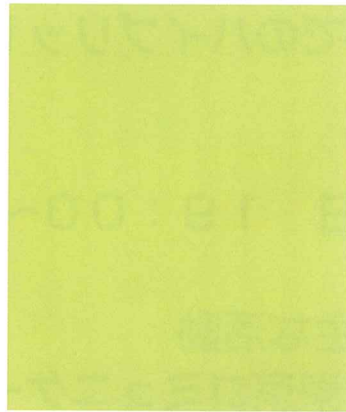
【ズ】 ずーっとワイズ活動で不思議に思っていること

いつもエネルギッシュに活躍する力

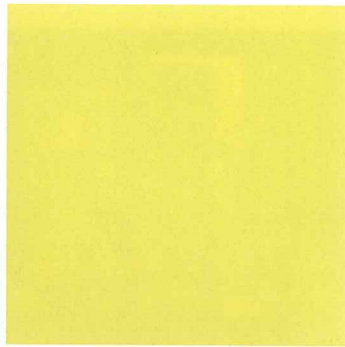
【メン】 メンバーに向けて一言

むりをなさらず
さまざまなことがらを
しあわせに変える
のぞむ社会に変える
たよりになるリーダーとして
まっとうしてください

これからもエネルギッシュなみなさんで



第一版
表紙
(印刷用紙五文)



東京武蔵野多摩クラブの活動

第1例会

毎月第2水曜日 19:00～
東京YMCA西東京コミュニティーセンター
およびZOOMでのハイブリット開催

第2例会

毎月第4水曜日 19:00～ 主にZOOMでの開催

その他、現在の主な活動

- ・東京YMCA西東京コミュニケーションセンター活動支援
- ・健康増進カフェへの協力
- ・納涼例会、クリスマス例会等の開催によるメンバー交流
- ・家庭での不要古書の収集とメルカリでの販売
(2022年度より新たなクラブファンドとして正式運用開始)



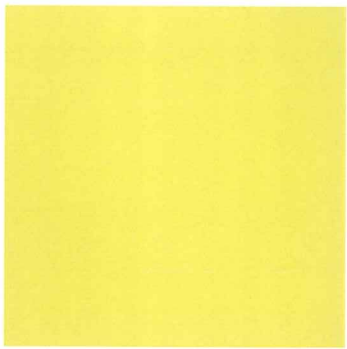
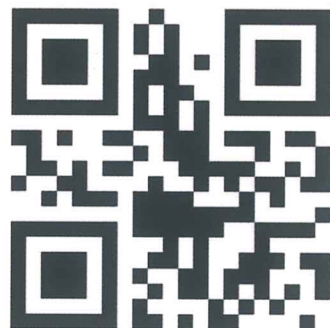
第一例会の様子、リーダー卒業祝いの様子



ワイズメンズクラブ紹介ページ



東京武蔵野多摩クラブ紹介ページ



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ
発行 2023年2月1日
編集 40周年記念誌作成担当 中村吉孝

感謝

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ